

平成 29 事業年度 事業計画

(平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで)

1. はじめに

中央競馬の動向をみると、発売金が平成 24 年からは 4 年連続で前年を上回り、平成 28 年度についても比較的堅調に推移しております。しかし、景気の先行きが不透明な中、今後の経済動向が中央競馬の事業運営に様々な影響を及ぼすことも考えられ、また、人口減少やレジャー産業間の競争激化も進んでおり、取り巻く環境は依然として楽観視できない状況であると思われま

す。また、社会福祉の分野においては、少子高齢化の下、国民の社会福祉へのニーズは益々増大し、かつ、多様化しており、民間の福祉力の更なる向上が求められております。

そうした中で、当財団は、公益財団法人として将来にわたり事業を安定的に進めていくため、コンプライアンスを遵守し、事業の公平性、透明性に引き続き十分配慮しつつ、平成 29 事業年度は以下のとおり取り組みます。

2. 平成29事業年度の取組

(1) 社会福祉事業に対し施設整備等の助成を行う事業

民間社会福祉施設における環境の整備・充実に資するため、関連規程に則り助成事業の適正かつ効果的な執行に努めます。

なお、事業へのニーズに柔軟に対応しうるよう平成28年度において運用の見直しを行いましたが、平成29年度においても、見直し内容に沿った事業を実施することとします。

(2) 社会福祉事業関係者の研修事業に対し助成を行う事業

社会福祉事業における人材の育成に資するため、民間社会福祉施設で働く職員を対象とした海外研修活動及び国内研修活動に対し、引き続き効果的な助成の実施に努めます。

(3) 中央競馬関係者の福利厚生の上向のための事業

事務手続を着実に実施し、引き続き福祉手当の適正な支給を行います。

(4) 管理業務

現事務所については、耐震性の問題からビルの建て替えが予定されているため、平成29年度において移転を行います。また、超低金利状況の下、基本財産等の運用益の減少が顕著となっております。こうしたことを踏まえ、予算の効率的な執行に努めながら、管理業務を円滑に実施します。